

徳島市におけるレンタル二輪車の導入が観光交流等の 促進に及ぼす効果

1. はじめに

近年、我が国の多くの地方都市では中心市街地の衰退化が大きな問題となっている。地方都市のひとつである徳島市の中心市街地でも衰退化は進んでおり、中心市街地の活性化は重要な課題である。このような社会的背景のもと、徳島市では、中心市街地活性化のためのひとつの事業として、電動アシスト付自転車および電動バイクを対象としたレンタル二輪車事業の導入の検討を行っている。そこで本研究では、レンタル二輪車導入に関するアンケート調査を行い、それをもとに、レンタル二輪車の導入が、利用者である市民の立場からみて、どのような効果を及ぼすかについて分析することを目的とする。

2. アンケート調査の概要

本研究では、レンタル二輪車の導入に対する意識や利用意向を明らかにするためにアンケート調査を実施した。配布部数3,000部に対して回収部数が630部であり、回収率は21%であった。アンケート調査の実施概要を表1に示す。

表1 アンケート調査の実施概要

実施日	対象者	対象地域	配布方法	回収方法
2011年9月	一般市民	徳島県	ポスティング配布	郵送回収

3. 徳島市におけるレンタル二輪車の導入効果

3. 1 訪問可能な圏域の拡大

アンケート調査から徒歩、電動アシスト付自転車、電動バイクのそれぞれの移動手段による平均移動距離を算出する。そして、レンタル二輪車の貸し出し場所となる徳島駅を起点として平均移動距離内で訪問可能な範囲をGIS(地理情報システム)上に表示させ、面積を算出した。徒歩で訪問可能な面積とレンタル二輪車で訪問可能な面積を比較することにより、その導入効果を算出した結果、電動アシスト付自転車については約6倍の効果、電動バイクについては約37倍の効果があることがわかった。

3. 2 都市施設の利用ポテンシャルの向上¹⁾

レンタル二輪車の導入により、徳島駅における施設利用のポテンシャルが向上すると考える。本研究では、施設利用のポテンシャルは徳島駅からある施設への近きやすさに基づくと仮定した。そして、アンケート調査からわかった徒歩、電動アシスト付自転車、電動バイクのそれぞれの平均移動可能範囲内のすべての施設について、ポテンシャルを算出し、総和する。徒歩による利用ポテンシャルに対し、電動アシスト付自転車および電動バイクによる利用ポテンシャルが何倍になったかという視点から効果を計測した。図1にレンタル二輪車の導入効果の算出結果を示す。この結果から、レンタル二輪車の導入により都市施設の利用ポテンシャルが向上することがわかった。施設別にみると、「学校」への効果が最も高く、「飲食店」で最も低い結果となった。「学校」は徳島市内全域に配置されているが、「飲食店」は徳島市の中心に多く配置されているという傾向がみられたことから、施設配置の影響が大きく関係していると考えられる。

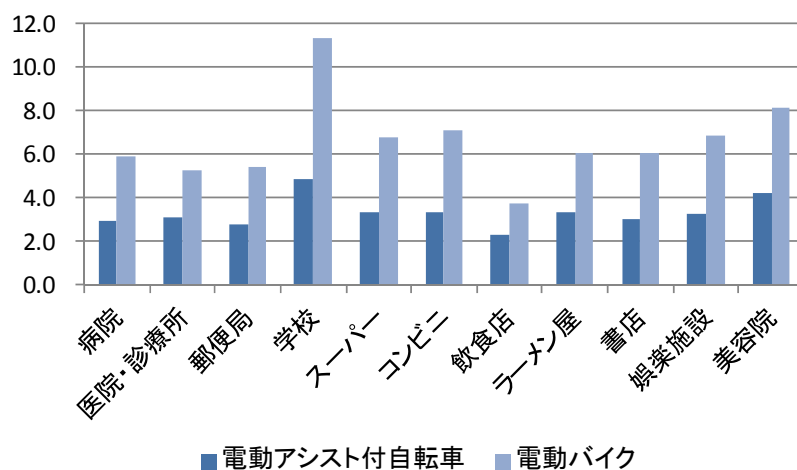


図1 都市施設の利用ポテンシャルの向上

4. おわりに

本研究では、レンタル二輪車の導入が利用者に対して及ぼす効果について、訪問可能な圏域の拡大、都市施設の利用ポテンシャルの向上といった視点から分析を行った。分析結果より、レンタル二輪車の導入により訪問可能な圏域が拡大し、都市施設の利用ポテンシャルが向上することがわかった。

〈参考文献〉

- 1) 丁育華, 近藤光男, 村上幸二郎, 大西賢和, 渡辺公次郎: 高齢者の都心居住を考慮した都市施設の配値評価モデルとその地方圏への適用に関する研究, 都市計画論文集, No.43(3), pp.13-18, 2008.